

I 概要

- 1 開催日時 令和7年5月7日（水） 午前10時から正午まで
- 2 開催場所 静岡市立高等学校 会議室
- 3 出席者（委員） 佐伯泰広委員、海野耕司委員、大森公香委員、梅島眞代委員、高木雅宏委員
- 4 出席者（学校） 新家輝男校長、佐野仁彦副校長、京田慎一教頭、加納多佳子事務長
- 5 傍聴者 なし
- 6 協議資料 静岡市立高等学校学校運営協議会設置要綱
静岡市立高等学校学校スクールミッション
令和7年度学校経営構想

II 議題等（次第順）

- 1 開会のことば
- 2 校長挨拶

令和7年度から本校の学校運営協議会を立ち上げたことを説明。学校運営に地域や委員の意見を取り入れ、子どもたちの学びや成長に繋がりたい。授業や部活動に励む生徒の様子に触れ、文武両道を目指す中で、子どもを中心に据えた対話を重視した学校運営について説明した。有意義な意見交換を期待し、各委員へ協力依頼をした。

- 3 委員自己紹介及び学校関係者自己紹介
- 4 協議

(1) 会長及び副会長の選出

静岡市学校運営協議会に関する規則に則り、会長及び副会長を互選により選出した。

(2) 「学校運営協議会設置要綱」について

静岡市教育委員会事務局管理主事から学校運営協議会の制度について説明

(3) スクールミッション及び令和7年度学校経営構想について

静岡市立高等学校副校長がスクールミッション及び令和7年度学校経営構想について説明

(4) 意見・助言等

- ① 学校の取り組みに対し、委員から多様な学びへの意欲を評価する中で、「人権文化」という言葉の定着について疑問があり、学校側から、期首面談や研修、外部講師による講座、人権冊子の活用により教員と生徒に意識付けを行っていることを説明した。また、SNS等の課題に対応する情報教育や、偏見をなくすための配慮、制服の多様化（スラックス導入）など、多様性を尊重した体制づくりにも取り組んでいると説明した。加えて、「人権文化」という言葉を日常的に意識的に使うことが重要であると委員から指摘を受けた。
- ② 科学探究科を卒業した子どもが、当時は辛かったが大学では高校の学びが大いに役立っていると実感しているという保護者でもある委員から発言があった。高校時代に培った英語での発表力や高度な学習内容が、大学での学びにスムーズに繋がっていることから、学校の教育の質の高さが評価された。加えて、この強みを中学生や地域に伝えることの重要性について指摘された。更に「未来の静岡市の創り手を育む」というスクールミッションについても触れ、卒業後に地元に戻らなくても地域への関心を持ち続け、当事者意識や責任感、自己肯定感を育む教育の重要性についても委員から意見があった。また、委員から同窓生としての思いも込め、学校の特色を活かした教育方針が評価され、地域に根差した高校としての価値

が強調された。

- ③ 委員から、静岡市教育委員会では市立高校のあり方を検討する委員会が発足したことから、県立高校との差別化や各校の特色を明確にする重要性が強調された。特に「未来の静岡市の創り手・担い手を育てる」という理念に基づき、学校や地域、生徒への愛着を育むことが大切であり、学校経営にもその視点を意識すべきとの意見があった。また、学校側から、科学探究科の卒業生が大学での学びにスムーズに対応できたという事例から、本校の教育内容の質の高さが評価されている一方で、入学当初の困難さが中学生への広報においてネックになっているという課題も共有された。今後は、入学後の成長や成果を効果的に伝え、本校の魅力を中学生や地域への発信が重要であり、広報活動の工夫と地域からの意見の活用が求められている。
- ④ 学校側から、本校の魅力発信や入学希望者増加に向け、生徒がメンターとして中学生に直接語る機会の活用が提案された。また、委員から、科学探究科は数学や理科が好きな生徒には非常に良い環境だが、近年は志願者が減少し定員割れが続いている現状が課題と指摘された。学校側から中学校訪問やアンケート調査を行っているが、志願者減少の明確な要因について分析することができていないと説明した。委員から、特に英語発表など高度な学習活動が中学生等から「すごい」と評価される一方、「難しそう」と敬遠される面もあり、説明会の工夫や敷居を下げる方法の検討が必要であると意見があった。今後は中学校との連携強化や広報の見直しを通じて、本校の良さを正しく伝え、魅力を感じてもらえるよう学校全体で課題解決に取り組む必要がある。
- ⑤ 委員から、学校見学で本校の探究活動が非常に充実していると感じた一方で、定員割れが続いている現状に疑問を抱く意見があった。また、委員から、科学探究科卒業生が将来医師となり静岡市立病院に戻るような人材育成の構想について回想され、地域貢献を期待されていることが示された。
- ①から⑤の議論を踏まえ、会長から令和7年度の学校経営構想承認について提案があり、満場一致で承認された。
- ⑥ 最後に校長から、本校の今後のあり方について、定員や科学探究科・普通科の方向性を慎重に検討中であり、急な変革は避けている。市と県でそれぞれ高校の在り方を見直す動きがあり、今年1年で方向性が見えてくる見込みであり、生徒数の減少を見据え、将来世代を含めた長期的視点で学校の在り方を地域と連携して考えていく必要がある。今後は学校経営構想の大幅な見直しも視野に入れ、柔軟に対応していく方針であると説明した。

5 今後の日程の連絡

今後の日程について静岡市立高等学校副校長から連絡

- | | | | |
|-----|--------------|----------|-------------|
| 第2回 | 令和7年5月31日(土) | 文化祭一般公開日 | 午前10時から正午まで |
| 第3回 | 令和7年9月27日(土) | 学校公開日 | 午前10時から正午まで |
| 第4回 | 令和8年2月12日(木) | | 午前10時から正午まで |